

## 令和元年度 事業報告・決算報告について（概要）

### 1 事業報告

令和元年度は、認定NPO法人ひこばえの設立10周年にあたり、これを記念して講演会を令和元年9月22日に、社会学者であり東京大学名誉教授でもある上野千鶴子氏をお迎えし開催するとともに、これまでの活動の歴史を振り返り、設立10周年記念誌を制作しました。

#### ① 相談部門

- ・減少傾向にあった電話相談が、昨年の135件から263件と倍増するなど、悩んでいる人は相変わらず多いことを伺わせます。
- ・離婚後の子どもと親を引きあわせる面会交流の同行件数も、前年の21件から33件と大きく伸びました。

#### ② DV防止部門

- ・加害者教育更正プログラムでは、5人が受講するなど、事業として定着してきました。

#### ③ 心理研修部門

- ・群馬県で初めて、グリーフ(深い悲しみ)ケアのファシリテーター養成講座を開催し9人が資格を取得しました。

#### ④ 自立支援部門

- ・一時保護施設「風のイスキア」の入所者も、昨年の11人から18人と大きく伸び満室状態が続いています。
- ・これに併せて自立のための役所等への同行支援の回数も増加しています。

#### ⑤ 渉外・広報部門

年度後半には、新型コロナウイルス関連でバザーが中止となるなど、収入面では痛手となりました。

#### ⑥ 無料学習部門

七夕やクリスマスなどのイベントとお母さんカフェを同時に開催し、子どもだけでなく親同士の交流にも取り組んできました。

## 2 決算報告

令和元年度は、経常利益レベルで、昨年をわずかながら上回る黒字決算を計上することができました。

### (収入の部)

- ・会費収入が減る一方で、寄附金も前年比 77.4%と大きく減少しました。
- ・助成金は、子供の未来応援基金の獲得分が増加しました。
- ・事業収益は、シェルター入居者増により使用料収入が増加しました。

### (支出の部)

- ・事業費では、相談員等の研修を充実したため講師謝金等が増加しました。
- ・管理費では、10周年記念事業の講演会、記念誌作成費用が増加しました。

### <令和元年度決算結果と前年比較>

区分	項目	H30年度(円)	R元年度(円)	構成比(%)	増減額(円)	前年比(%)
収入の部	会費	404,000	388,000	3.6	△16,000	96.0
	寄附金	687,500	532,326	4.9	△155,174	77.4
	助成金等	4,114,516	4,898,000	45.2	783,484	119.0
	事業収益	4,530,473	5,027,350	46.4	496,877	111.0
	その他	16	21	0	5	131.2
	合計	9,736,505	10,845,697	100.0	1,109,192	111.4
支出の部	事業費	8,010,904	8,214,844	79.8	203,940	102.5
	管理費	1,182,127	2,077,527	20.2	895,400	175.7
	合計	9,193,031	10,292,371	100.0	1,099,340	112.0
収支		543,474	553,326		9,852	101.8



